



システム情報科学研究院附属光・量子プロセス研究開発センター開所式を開催

九州大学大学院システム情報科学研究院附属光・量子プロセス研究開発センターは、九州大学の強みである世界最大規模の高出力光・量子照射システムと世界最先端の物理計測システム及びAIなどの解析設備とノウハウを強化・拡充するため、2020年12月に新設されました。これを記念し、2021年1月28日(木)、九州大学伊都キャンパスで開所式を開催しました。

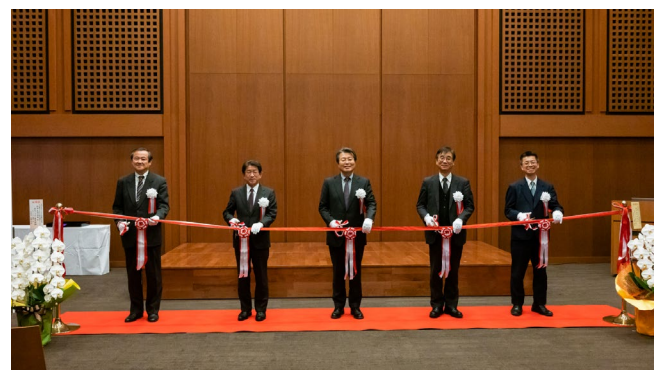
同センターは基盤研究を推進するギガフトン Next GLP 共同研究部門と、現在企業7社が参画し、社会実装を推進する綺羅(KILA:Kyushu University Innovative Laser Application)コンソーシアムを統合したことによって、Society5.0の実現に資するスマート製造システムの基盤研究から社会実装までを一気通貫して行う世界で唯一の機関となりました。

開所式は九州大学石橋達郎総長に始まり、ギガフトン株式会社代表取締役社長 浦中克己様、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム「光・量子を活用した Society5.0 実現化技術」プログラムディレクター 西田直人様、国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター所長兼ミニマルIoTデバイス実証ラボ長 平井寿敏様、センター長の白谷正治教授の挨拶へと続き、関係者によるテープカットが行われました。

同センターの最大の特徴は高出力の短波長レーザー設備を複数所有していることです。このことにより、紫外(波長157nm)から赤外(波長10600nm)まで用途に即した波長と出力を選択して研究開発を行うことが可能です。また、最先端の計測システムやAIなどの解析設備も併設していることにより、試料作成から解析までを即時に行うことができます。これにより、内閣府のプロジェクトであるSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)における課題であるサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステム(サイバーフィジカルシステム)化の実現に向けて研究開発を推進していきます。



石橋総長による挨拶



テープカットの様子

【お問い合わせ】 大学院システム情報科学研究院 教授 白谷 正治

電話:092-802-3727 FAX:092-802-3750

Mail: contact@q-photon.ees.kyushu-u.ac.jp